

## 第 62 回日本救急医学会関東地方会 幹事会 議事録

日 時：平成 24 年 2 月 4 日（土） 12：00～13：00

場 所：日本青年館ホテル B1F 中ホール

### ■新幹事推薦（堀常任幹事長）

新幹事 11 名の推薦が行われた。今回の候補者については、会員歴、会費納入状況等資格について事務局が調査済みであり、先に行われた常任幹事会で承認済みであることが報告された。新幹事 11 名が承認され、新幹事の就任の挨拶があった。

### 《報告事項》

#### 1. 庶務報告について（矢口常任幹事）

2011 年 12 月 31 日時点での総会員数は、1,009 名であり、2011 年度新入会者は 181 名、退会者は 198 名との報告がされた。

3 名の会員の逝去が報告され、黙祷がささげられた。

#### 2. 2011 年度決算報告（矢口常任幹事）

収入については、予算より約 154,235 円の増収であった。支出については、地方会補助費を 1,500,000 円から 2,000,000 円に増額し、慶應義塾大学（2012 年度開催施設）に 2,000,000 円、北里大学（2011 年度開催施設）に 500,000 円を追加で支払った。また、SOS-KANTO の始動により通信費、会議費の増加があった。収入合計 6,506,235 円、支出合計 7,567,836 円となり、最終的には 1,061,601 円の赤字となった。

兼坂監事より、1 月 18 日に事務局にて収支決算報告書および付随の帳簿等の監査を行った結果、全ての処理が適正であることが報告され、2011 年度決算が承認された。

#### 3. 各常任幹事担当報告

##### ①看護部会・JATEC 報告（山口常任幹事）

看護部会会則を変更したとの説明があった。「看護婦（士）」の表記を「看護師」とし、事務局所在地を「へるす出版事業部」とするなど、事務的な変更点を改正したこと、また、学術集会開催を支える看護部会運営委員会には、運営委員に委員長、副委員長の役職を設置し、構成を明確化した。

さらに、運営委員の任期を 2 年とし、「委員は任期終了後も後任者が決定するまでは、そ

の職務を代行する」との文言を削除した。

JATEC については、2012 年度の東京開催枠は既に決定をしているが、7 月に、東京慈恵会医科大学と横浜市立大学附属市民総合医療センターの共同開催を予定していることが報告された。

#### ②救急隊員部会報告（横田常任幹事）

平成 24 年 1 月 27 日に、第 49 回救急隊員学術研究会が日本青年館大ホールにて開催され、シンポジウム 2 題、教育講演 2 題、一般演題 6 題が行われ、1,000 名以上の参加があり、活発な討論が交わされたことが報告された。

また、これまでの慣例であった参加費 3,000 円が、第 49 回救急隊員学術研究会では 4,000 円となったことが報告された。

#### ③SOS-KANTO 報告（矢口常任幹事）

2012 年 1 月 1 日から SOS-KANTO 2012 の症例登録が、65 施設にて開始されていることが報告された。委員会内の活動としては、委員会規則が常任幹事会で承認され施行されたこと、全体会議が行われたことなど、活発に活動しているとの報告があった。

田原 SOS-KANTO 委員長より、挨拶があった。

#### ④編集委員報告（森村常任幹事）

『日本救急医学会関東地方会雑誌』第 32 巻が発行されたこと、また、82 本の投稿論文が掲載され、投稿率は 38.0%であったことが報告された。

また、論文の位置づけについては、現在検討中であるとの報告があった。

かつては学術集会時に抄録集が作例されていなかったことから、「I. 原著論文・総説・症例報告」「II. 発表論文」の区別が明確であったが、近年は論文の位置づけが曖昧になっている。論文投稿時に混乱を招かないよう、投稿規定の文頭に以下の一文を追記することとなった。「学会発表の内容を、「II. 発表論文」として本誌に掲載しています。編集委員会から指示があった場合のみ「I. 原著論文・総説・症例報告」としてご執筆下さい。」

#### ⑤ホームページ報告（猪口常任幹事）

本会ホームページの更新が頻回に行われていることが確認され、2011 年に、SOS-KANTO のページが新設されたこと、今後は日本救急医学会の組織図を掲載することが報告された。

#### 4. 第 62 回日本救急医学会関東地方会報告（堀会長）

「明日の救急を考える」とのテーマで開催されている学術集会には、シンポジウム 3 題、

招待講演 2 題を予定しており、医師部会・看護部会併せて 250 題との、多くの演題登録があったことが報告された。

本日 11 時の時点で、医師部会看護部会には、543 名の参加者があったことが報告された。

#### 5. 第 63 回日本救急医学会関東地方会報告（坂本次期会長）

「変革期を迎えた救急を見据える」のテーマで、2013 年 2 月 8 日（金）に帝京平成大学池袋キャンパス沖永記念ホールにて第 50 回救急隊員学術研究会を、2013 年 2 月 16 日（土）に、帝京大学医学部・医療技術学部教室と、帝京大学医学部臨床大講堂にて第 63 回日本救急医学会関東地方会を行う予定であることが報告された。

### 《審議事項》

#### 1. 2012 年度予算報告（矢口常任幹事）

収入については例年通りの予算組であるが、支出については、新たに SOS-KANTO 2012 の項目を設け、345,750 円の予算を組み込んでいること、研究にはさらに経費が必要であることが見込まれることから、予備費を 500,000 円としているとの説明があり、2012 年度予算案が承認された。

#### 2. 名誉会員の推戴について（堀常任幹事長）

常任幹事会で、9 名の役員経験者を名誉会員に推戴し、就任の意思を確認したことが報告され、承認された。


#### 3. 次々期会長について（堀常任幹事長）

2014 年開催の日本救急医学会関東地方会の会長について、常任幹事会にて横浜労災病院の兼坂茂先生の推薦があり、承認された。

兼坂次々期会長より挨拶があった。

以上

[議事録作成：事務局 松本 舞]

議長： 堀 進悟 

議事録署名人： 金子 直之 

船隻知事印